

## 令和7年度 第2回 国立循環器病研究センター医療安全監査委員会 議事録

【日 時】 令和8年2月9日（月） 15：00～15：50

【場 所】 国立循環器病研究センター 研究棟2階第13会議室および Web

### 【出席者】

外部委員 岡田 健次（神戸大学心臓血管外科教授）（Web）

後 信（九州大学病院医療安全管理部長）（Web）

内部委員 西村 邦宏（国立循環器病研究センター研究所予防医学・疫学情報部長）

### 【欠席者】

外部委員 国子 克雄（心を守る会 会長）

### 【国立循環器病研究センター出席者】

山本 一博 病院長

豊田 一則 副院長

大郷 剛 医療安全管理部長

森 有希 医療安全管理室医師

中藏 伊知郎 医薬品安全管理責任者

宮川 幸恵 医療機器安全管理責任者

藤田 知宏 医事専門職

### 【議 事（概要）】

- 議題に沿って医療安全管理室の活動報告、質疑応答がなされた。
- 委員からの是正すべき事項等の指摘は特になし。

### 【議 事（詳細）】

#### 1. 開会挨拶（山本病院長）

医療安全は病院機能の根幹であり、外部委員による定期的なチェックが重要である。忌憚のないご意見・ご指摘をいただき、医療水準の向上に繋げたい。

#### 2. 医療安全管理室の活動報告

それぞれ以下のとおり報告がなされ、ご意見をいただき、また、質疑応答を行った。なお、今年度の数値は、特に記載のない限り、4～12月の実績。

(1) 概況 (大郷 医療安全管理部長)

(2) インシデント発生状況及び医療安全管理室の活動報告等

(大郷 医療安全管部長、森 医療安全管理室医師)

- ・インシデント内訳
- ・医薬品安全管理リスクチームラウンド
- ・モニターアラームコントロールチームラウンド (MACT)
- ・身体拘束最小化チームラウンド
- ・医療安全環境ラウンド
- ・RRS (院内迅速対応システム)
- ・医療安全関連会議

《ご意見・質疑応答》

○身体拘束最小化は、患者にとってはストレスになるので最小化したいのだが、比較的落ち着いている患者の身体拘束を解除したところ、目を離している間に自己抜管に至った事象があった。自己抜管は危険なので、身体拘束のような基準はなかなか難しいと思うが、そのような事故やその対応がもしあれば、教えていただきたい。

→身体拘束による大きな事故は起きていない。重症患者や集中治療室患者には必要時にはやむを得ず使用している状況である。重症疾患や脳疾患の患者が多くある程度制限しないといけないケースもあり、少ない病院と比べると、当院は多い方かもしれない。

(3) 医薬品安全管理の活動報告 (中蔵 医薬品安全管理責任者)

○医薬品安全使用に関する内容の院内発信

- ・持続注射指示方法を、原則 mL/hr に統一
- ・その他、院外機関や医薬品メーカーからの周知事項を案内

○プレアボイド報告

<主な事例>

- ・薬剤師介入による過量投与を防止
- ・アレルギー登録がフリーコメント入力されていた事例で禁忌薬処方を回避

○副作用報告

- ・PMDA への報告件数は今年度 10 件

○繰り返すインシデントの対策

フリーコメントで禁忌薬剤・アレルギー欄に入力されている場合、システムチェックをかけることができない。うち、アルコール禁忌の患者にアルコール綿が処方されるケースが繰り返し報告されているため、システムチェックが可能なように、薬剤部に協力いただいて部門システムの設定変更や、「アルコール禁忌」旨のフリーコメント記載の患者を把握してアルコール綿の薬剤禁忌登録を行う等の対策を講じた。

後者の対策は、フリーコメント内にアルコール禁含む症例数が約 2 年間で 257 件あったが、アルコール製剤が薬剤禁忌登録されていたのは 25 件であり、未登録分は

当職で登録を行った。

《ご意見・質疑応答》

○アレルギーの対応は大変素晴らしいと思う。アレルギーがあった場合、それに対する薬剤の禁忌は全て登録されているのか。

→基本的には医師の判断に基づいて、薬剤禁忌登録を進める必要がある。今回登録しているアルコールについては、「アルコール禁忌」とあれば、当センターではアルコール綿は使用しないという運用になっているので、すべて薬剤禁忌情報として入力した。

現在、アルコール以外で、フリーコメントに記載されている品目が残り約 8,000 症例程度確認している。目視で 1 例ずつカルテ等を確認しながら私の方で登録作業中。

→では、現在は改善中で、今日ご提示いただいたデータがどのように改善した等は、今の作業を終えてからデータを取られる予定か。

→アルコールに関しては、インシデントの報告はなくなっているので、改善されているかと考えている。

医薬品に関しては禁忌薬剤処方インシデント報告があるので、引き続き対策しながら、院内周知含めて対応を検討中。

#### (4) 医薬機器安全管理の活動報告 (宮川 医療機器安全管理責任者)

- ・MACT ラウンドの活動実績
- ・モニターアラーム改善の取り組み

《ご意見・質疑応答》

○アラームの総数を減らす取り組みが結構進んでいるようで、大変素晴らしい取り組みで成果もあがっていると思われる。現場の声を聞きながら必要なモニターアラームを減らすことのないような工夫はあるか。

→病棟をまわって看護師達の話聞きながら改善しており、現場の声に沿った内容でできていると感じている。

○無駄な鳴りを減らすというのは素晴らしい取り組みだと思う。低電位による偽 Asystole を 3 リードから 5 リードに変更したとのことであるが、これは機器自体を交換する必要はなかったのか。

→モニターを変えることはできないので、見ることができるモニターを増やすことにより、心電図がとりやすいようにして、アラームを減らす方向にしている。

#### (5) 患者相談窓口対応の報告 (藤田 医事専門職)

- ・対応件数・事例

### 3. その他

特になし。

#### 4. 閉会挨拶（豊田副院長）

本日はお忙しい中、医療安全監査委員会にご出席ありがとうございます。私達はインシデント・アクシデントが起こらないように工夫して事前に様々なことを実施しているが、インシデント・アクシデントは発生する。一人一人が安全意識を持たないといけない。引き続き先生方に医療安全の様々なご指導をいただき、少しでも良い医療安全管理ができればと考えている。今日はどうもありがとうございました。